

岡山県の産業振興施策と 企業誘致等の状況

岡山県地域職業能力開発促進協議会 資料

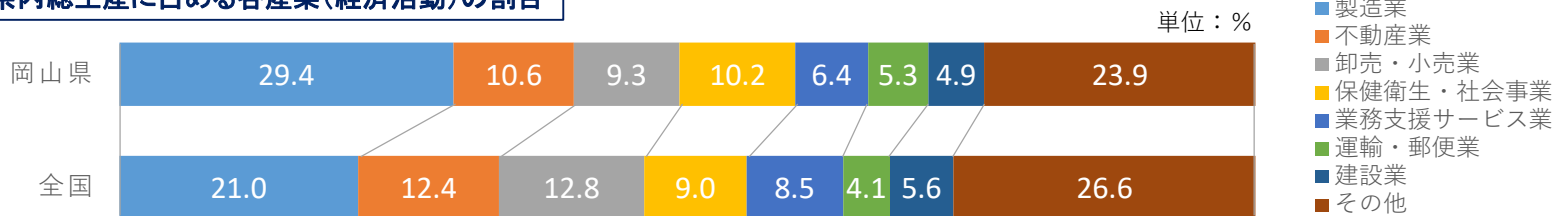
令和5年11月9日

岡山県産業労働部

岡山県の産業構造等

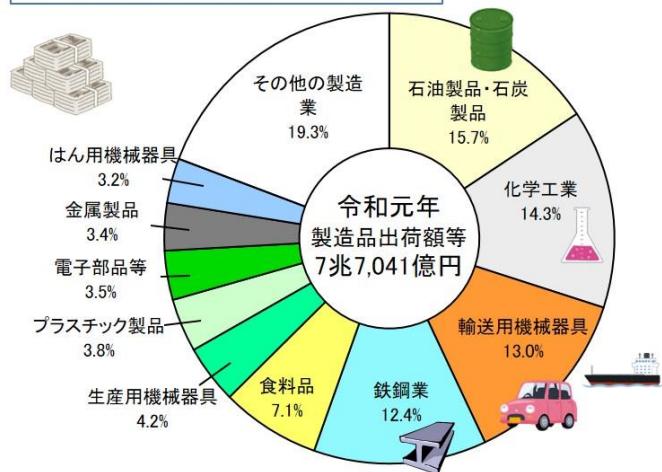
- 全国に比べ、製造業の割合が高い。
- 多彩な産業が集積する「ものづくり先進県」であり、中でも自動車関連産業は基幹産業。

県内総生産に占める各産業(経済活動)の割合

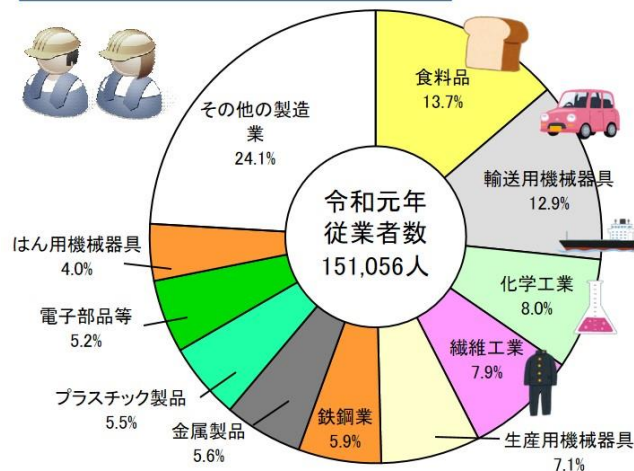


出典：令和2年度県民経済計算・同国民経済計算
(輸入品に課される税・関税、(控除)総資本形成に係る消費税は含まない。)

岡山県製造品出荷額等の業種別割合



岡山県製造業従業者数の業種別割合



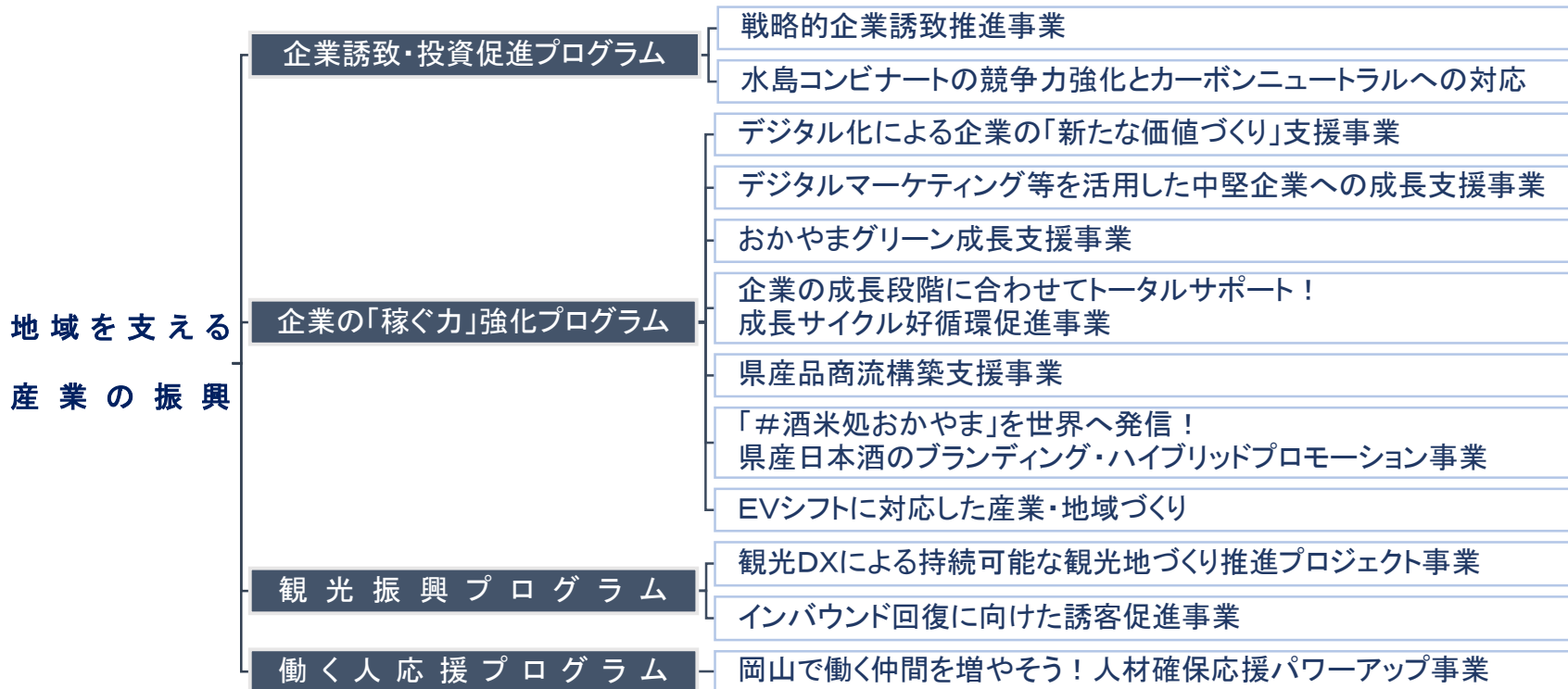
岡山県製造業	製造品出荷額等	従業員数
全体	77,041億円	151,056人
自動車関連※ (構成比)	7,559億円 (9.8%)	14,871人 (9.8%)

※自動車関連は、各業種から関係分を再掲。
出典：2020年工業統計調査結果(岡山県)

岡山県の産業振興策 ～令和5年度産業労働部重点施策～

- 「第3次晴れの国おかやま生き生きプラン」や「第2期おかやま創生総合戦略」に沿って、産業振興と雇用創出の好循環を生み出す施策を強力に展開。
- 新型コロナウイルス感染症や原油・原材料価格高騰の影響を受けた県内企業を関係機関と連携して全力で支援し、地域経済の復活につなげる。

「第3次晴れの国おかやま生き生きプラン」による施策体系



重点事業の概要

働く人応援プログラム

岡山で働く仲間を増やそう！
人材確保応援
パワーアップ事業

- ・県内企業の人材確保と地方への若者の環流をはかるため、県内企業の若手社員による「おかやま就活サポーター」等を活用し、県内外の大学生に岡山で働く魅力を伝えるとともに、民間就職情報会社の発進力を活用したインターンシップ情報の提供や、マッチングフェアの開催等により、インターンシップの参加を促進する。

企業誘致・投資促進プログラム

戦略的企業誘致
推進事業

- ・県内への新規企業立地や投資促進を図るため、既存の誘致補助金を維持しつつ、市町村が行う産業団地開発事業の経費に対する無利子貸付を行う。

水島コンビナートの
競争力強化とカーボン
ニュートラルへの対応

- ・水島コンビナートの2050年カーボンニュートラル実現のため、協議会の運営や調査・研究を行う。

観光振興プログラム

観光DXによる
持続可能な観光地づくり
推進プロジェクト事業

- ・デジタルマーケティングを活用したプロモーションを効果的に展開するとともに、旅行会社等と連携した着地型及び教育旅行商品の造成・販売により、認知度向上と観光客の増加を図る。

インバウンド回復に向けた
誘客促進事業

- ・インバウンド回復に向け、旅行商品の造成・販売につなげるため、観光PRデスクの活用や、セミナー、商談会等を実施するとともに、台湾において、本県の魅力をPRするため、トッププロモーションを行う。外国人旅行者の県内滞在・周遊を促進するため、レンタカー料金を助成するとともに、他言語に対応するコールセンターを設置する。

企業の「稼ぐ力」強化プログラム

デジタル化による
企業の「新たな価値
づくり」支援事業

- ・「業種別デジタル化推進支援モデル」を作成し、商工会等支援機関へ提供するとともに、支援モデル等を活用してプッシュ型DXへの取組を中小企業等に働きかける。さらに、相談支援体制強化のため、必要な補助員を配置する。また、先進事例等を紹介するセミナーやスタートアップ企業等のシーズやアイデア等を配信するピッチイベントを開催する。

デジタルマーケティング
等を活用した中堅企業
への成長支援事業

- ・県内中小企業のマーケティング力の強化を支援するため、デジタルマーケティング等の考え方も活用しながら専門家チームによる伴走支援や、セミナー・相談会を開催する。

おかやまグリーン
成長支援事業

- ・2050年カーボンニュートラルに伴うグリーン成長の動きを県内ものづくり企業のビジネスチャンスにつなげるため、最新の技術情報の提供や、専属のコーディネーターによる伴走支援を核とした新技術・新製品の研究支援等を行う。

企業の成長段階に合わせて
トータルサポート！
成長サイクル
好循環促進事業

- ・新型コロナウイルスの影響に加え、原油・原材料価格高騰や新型コロナウイルス関連融資の返済本格化等の問題に直面している県内企業を支援するため、県制度融資による資金繰り支援、県中小企業支援センターによる専門家派遣、人材育成研修、BCPの策定支援等を実施する。また、大規模展示商談会「おかやまテクノロジー展(OTEX)」をリアルとオンラインで開催する。

県産品商流構築
支援事業

- ・県産品の海外販路開拓を促進するため、大規模展示会への出展や商談会を開催する。また、百貨店等において、県産品の催事を開催し、認知度向上・消費拡大を図る。

「#酒米処おかやま」を
世界へ発信！県産日本酒
のブランディング・ハイブリ
ッドプロモーション事業

- ・県産日本酒の海外販路拡大に向け、イベントに出店し、試飲・販売を実施するとともに、フランス版ECサイト等を活用した情報発信を行う。加えて、国内首都圏市場の販路開拓のため、県内蔵元による試飲会や雄町の魅力を発信するトークセッションを開催する。

EVシフトに対応した
産業・地域づくり
推進事業

- ・世界的にEVシフトが進展する中、県内企業のEVシフトを促進するため、EVや次世代自動車に関する情報発信や技術開発のための人材育成を行う。また、企業の異業種展開・企業間連携を支援する。

岡山県の企業誘致

戦略的企業誘致の推進

利便性の高い交通インフラ、充実したサプライチェーン、安定した電力や水の供給、温暖な気候など、優れた操業環境に加え、優遇制度、規制緩和等をセールスポイントに、地域経済への生産・雇用の誘発効果が期待できる企業等を幅広く誘致するとともに、本県経済を牽引する水島コンビナートの立地企業など、県内拠点の維持・発展に向けた設備投資を促進し、地域経済の活性化や新たな雇用の創出を図る。

■ 主要ターゲット

- ・ 食料品製造業など多くの雇用を創出する企業や、EV関連製造業等原材料供給や部品製造などサプライチェーンの構築を通じて県内企業への取引拡大につながる企業
- ・ 玉島ハーバーアイランドへの日本エアロフォージ社を核とした航空機産業の集積
- ・ 先端的な試験研究拠点や新製品や新技術など新たな価値を創造するイノベーション拠点の設置など、海外拠点との差異化を目指す企業
- ・ 安定した良質な雇用の創出を通じた、本県への仕事と人の流れを加速させるための首都圏等からの本社機能移転や支店等の開設の促進

誘致企業の業種別件数

単位:件

	H30	R1	R2	R3	R4
製造業	16	19	8	19	16
流通業	7	9	5	10	8
その他	4	2	6	2	3
計	27	30	19	31	27

主な立地企業

立地年度	企業名	事業内容等
H29	明治(株)	食品製造
H30	鴻池運輸(株)	運送、倉庫業
R1	マキタ(株)	物流施設
R2	(株)山本金属製作所	機械加工の「ロイス/バージョン」実験
R3	アイリスオーヤマ(株)	生活用品・製造・販売
R4	(株)パワーエックス	蓄電池の組立

令和5年3月31日現在。
「その他」は、本社移転、支店開設等。

地域の人材ニーズについて



会社概要 Company information

社名

株式会社キャリアプランニング

本社所在地

〒700-0901 岡山市北区本町6番36号 第一セントラルビル

設立

1986年7月24日

資本金

5,000万円（株式会社天満屋100%出資）

代表者

代表取締役社長 秋山 健司

認可番号

<労働者派遣事業> 派33-010011

<有料職業紹介事業> 33-ユ-010032

認定番号

<優良派遣事業者 認定番号> 第2011006 (03) 号

<職業紹介優良事業者 認定番号> 第2002002 (03) 号

人材関連ビジネスの2022実績と2023予測

●人材関連ビジネス主要3業界

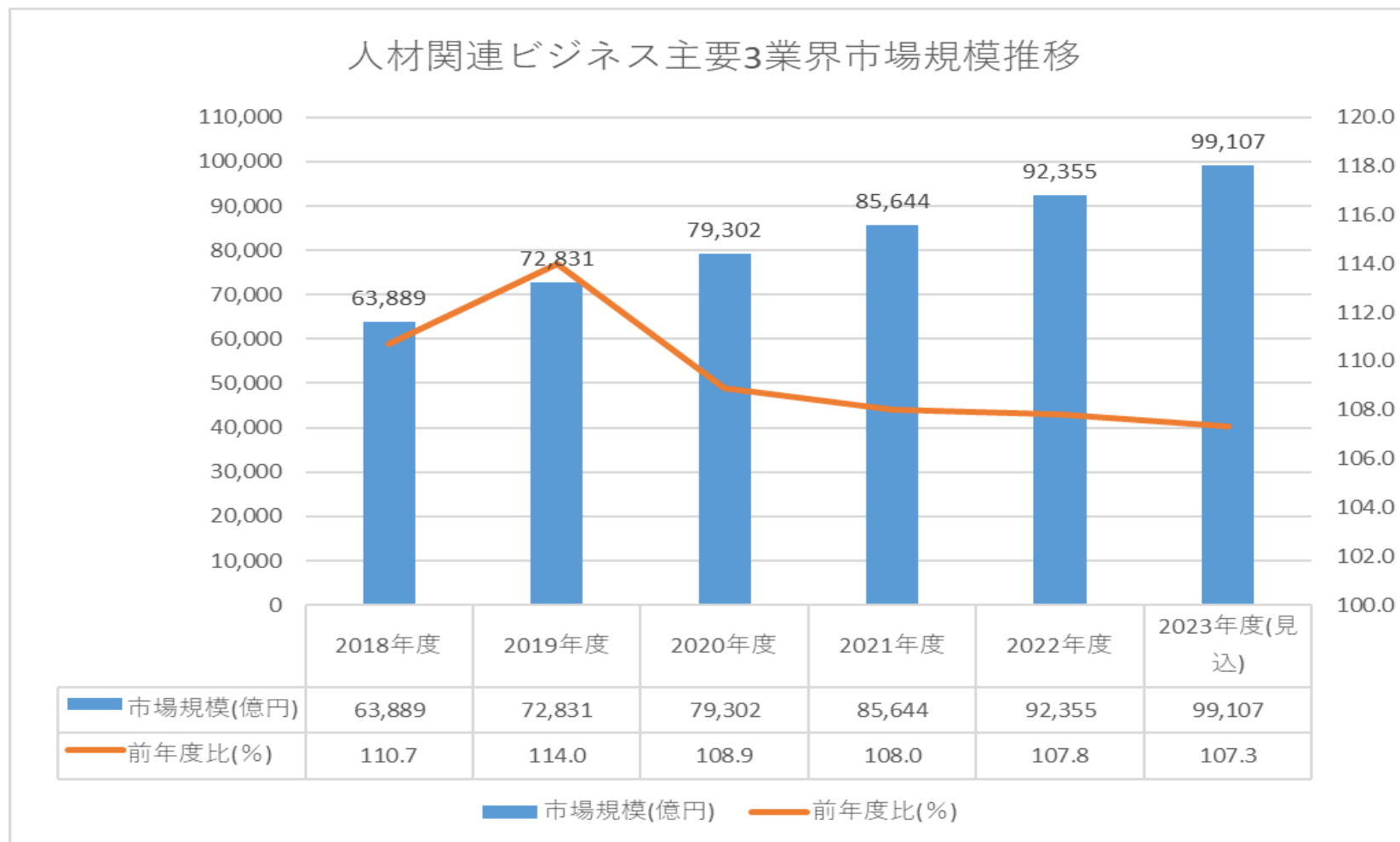
矢野経済研究所によると、2022年度の人材関連ビジネス主要3業界（人材派遣業、ホワイトカラー職種の人材紹介業、再就職支援業）の市場規模は、事業者売上高ベースで前年度比7.8%増の9兆2,355億円であった。

内訳は、人材派遣業市場が8兆8,600億円（前年度比7.6%増）、ホワイトカラー職種の人材紹介業市場が3,510億円（同18.6%増）、再就職支援業市場が245億円（同23.7%減）となった。

2023年度の人材関連ビジネス主要3業界（人材派遣業、ホワイトカラー職種の人材紹介業、再就職支援業）の市場規模は、事業者売上高ベースで前年度比7.3%増の9兆9,107億円の見込みである。

2023年度においても、業界・業種や従業員規模に関わらず多くの企業で人手不足は続き、人材採用（リソースの確保）を目的として利用される人材関連サービスに対する需要は高まっていくとみる。

人材関連ビジネスの市場規模推移

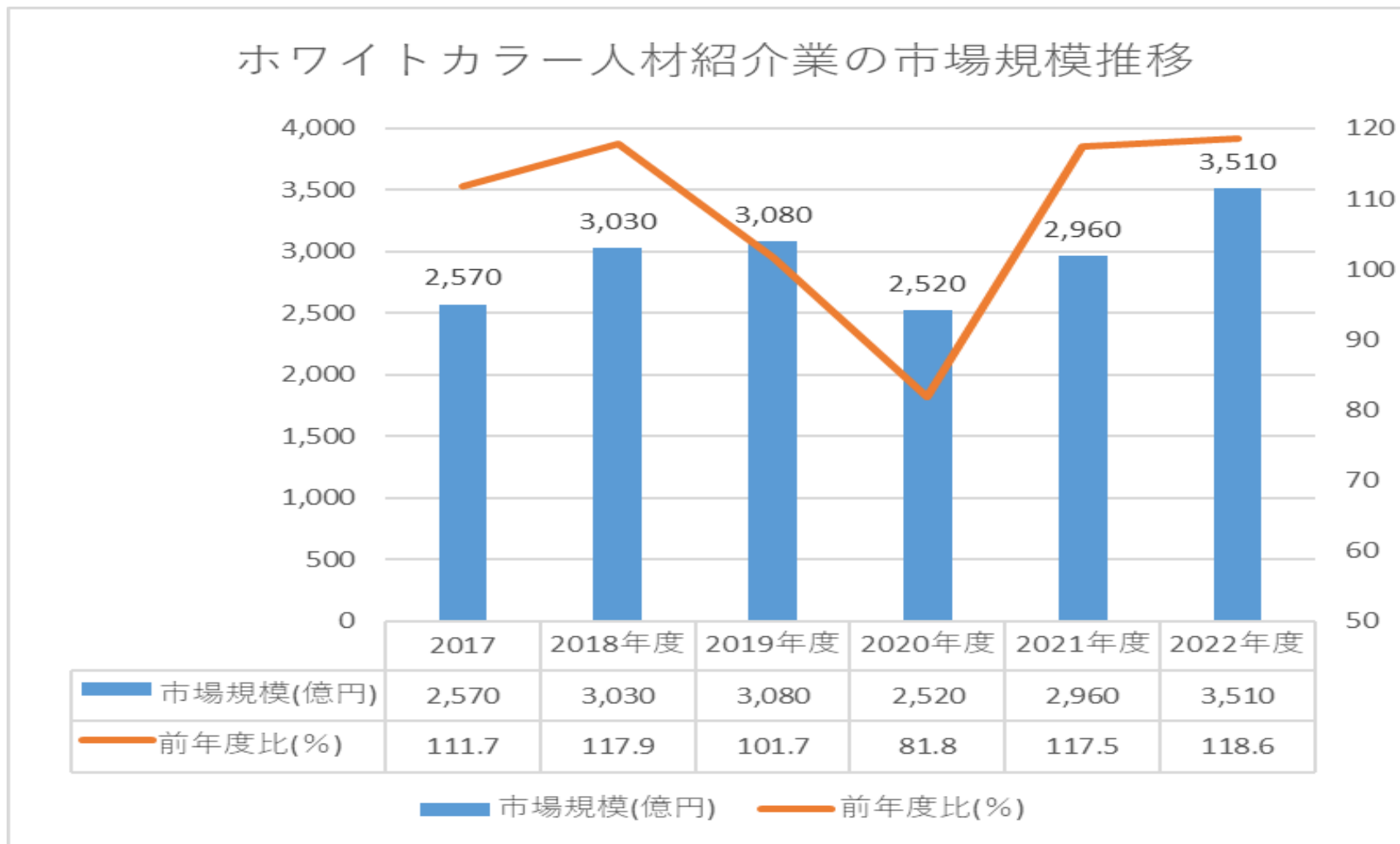


出典：矢野経済研究所HPより

人材紹介業の市場動向（正規雇用転職市場）

矢野経済研究所によると、2022年度の市場規模は、前年度比18.6%増の3,510億円であった。コロナ禍で停滞した経済活動を正常化しようとする前年度からの社会背景に伴い、採用需要が高まったことで順調に市場が拡大した。飲食業や旅行業などコロナ禍による影響が大きかった一部の業界では人材需要の回復が遅れたものの、市場全体で見るとサービス需要は回復を続け、市場規模はコロナ禍以前の2019年度を上回る規模となった。2023年度も**人手不足やDXシフト、事業変革ニーズ**を背景として成長する見込み。

人材紹介業の市場規模推移



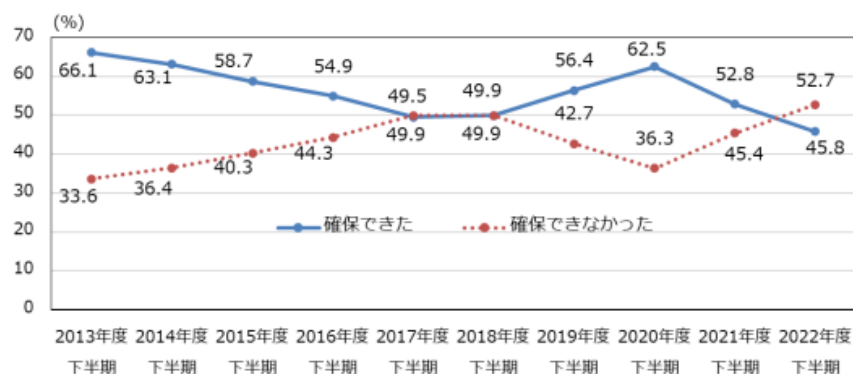
出典：矢野経済研究所HPより

中途採用の市場動向

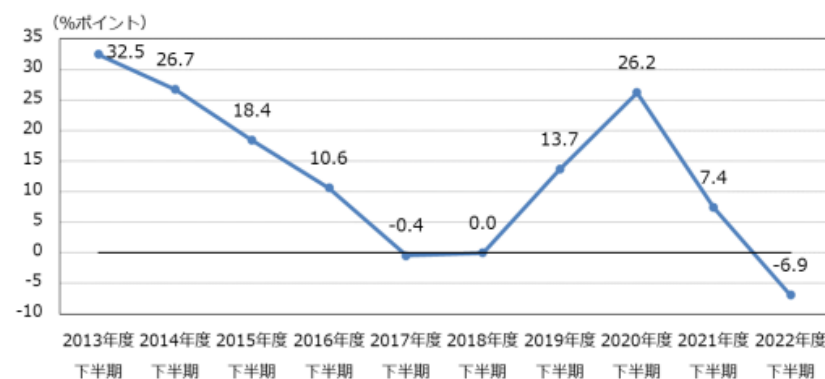
2022年度下半期 中途採用における人数確保状況 未充足企業の割合が充足企業の割合を上回り、本格的な人材確保難に

- 2022年度下半期の中途採用において、必要な人数を「確保できた」と回答した企業は45.8%、「確保できなかった」と回答した企業は52.7%であり、「確保できなかった」と回答した企業の割合は前年度から+7.3%ポイントと増加した。「確保できた」企業の割合と「確保できなかった」企業の割合の差(「中途採用確保D.I.」)は、全体で-6.9%ポイントとなり、「確保できた」企業の割合を「確保できなかった」企業の割合が上回った。比較可能な2013年度下半期以降、最も低い値であり、人材の採用難度が高まっている。
- 「中途採用確保D.I.」を従業員規模別にみると、全ての従業員規模でマイナスとなっており、「確保できなかった」企業が「確保できた」企業を上回っている。特に、1000~4999人企業で-13.4%ポイント、300~999人企業で-11.3%ポイントと低水準となった。
- 「中途採用確保D.I.」を業種別にみると、傾向は業種によってわかれているものの、大きくマイナスとなった業種が多くみられた。特に低水準となったのは、運輸業(-23.8%ポイント)、飲食店・宿泊業(-32.1%ポイント)、医療・福祉(-21.3%ポイント)であった。

■ 中途採用：必要な人数の確保状況(経年比較)



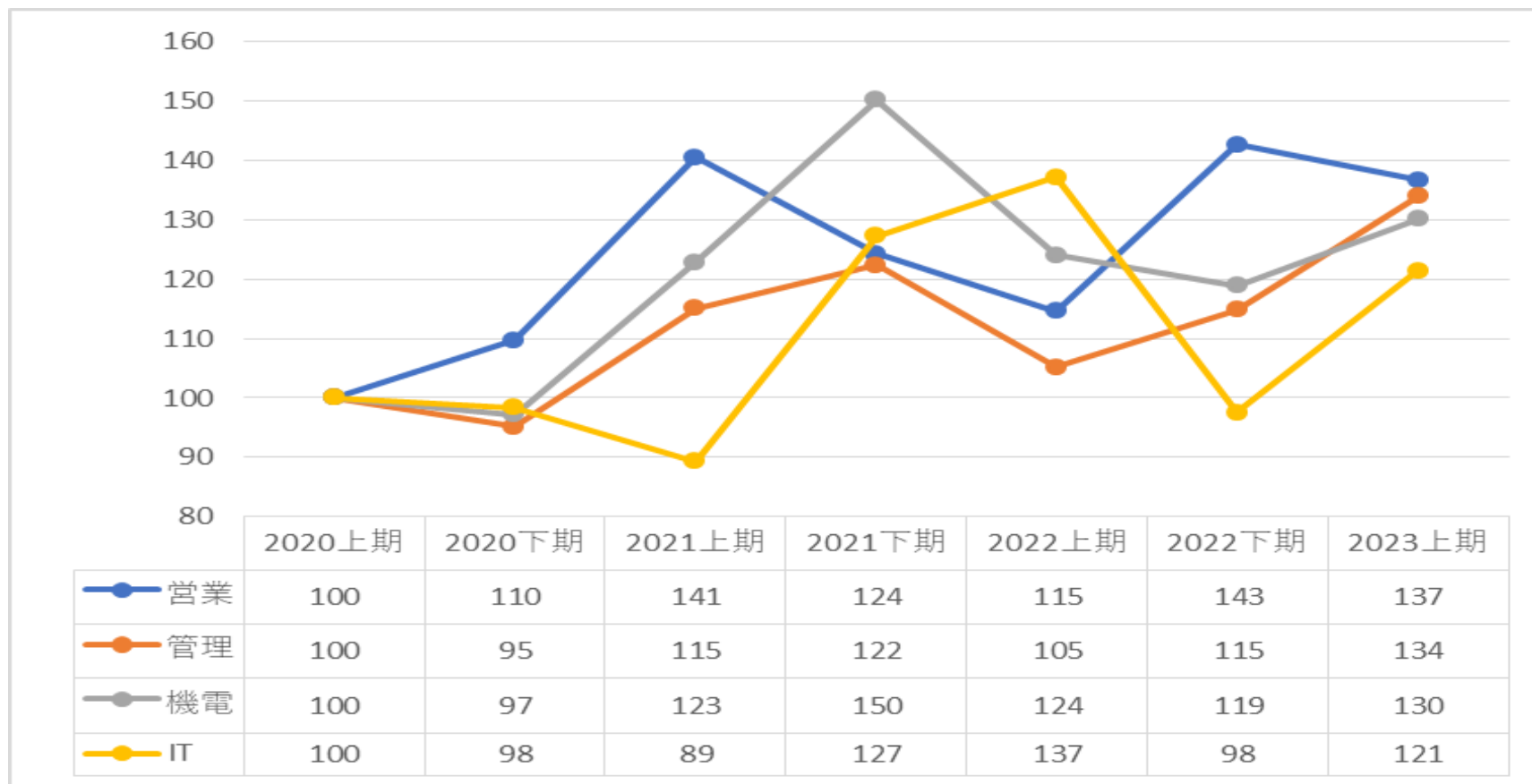
■ 中途採用確保D.I.(確保できた-確保できなかった)推移



出所：リクルートワークス研究所
(中途採用実績調査 2022年度実績、正規社員)

弊社の人材紹介事業の求人について

求人受注状況：主要職種（ホワイトカラー系）



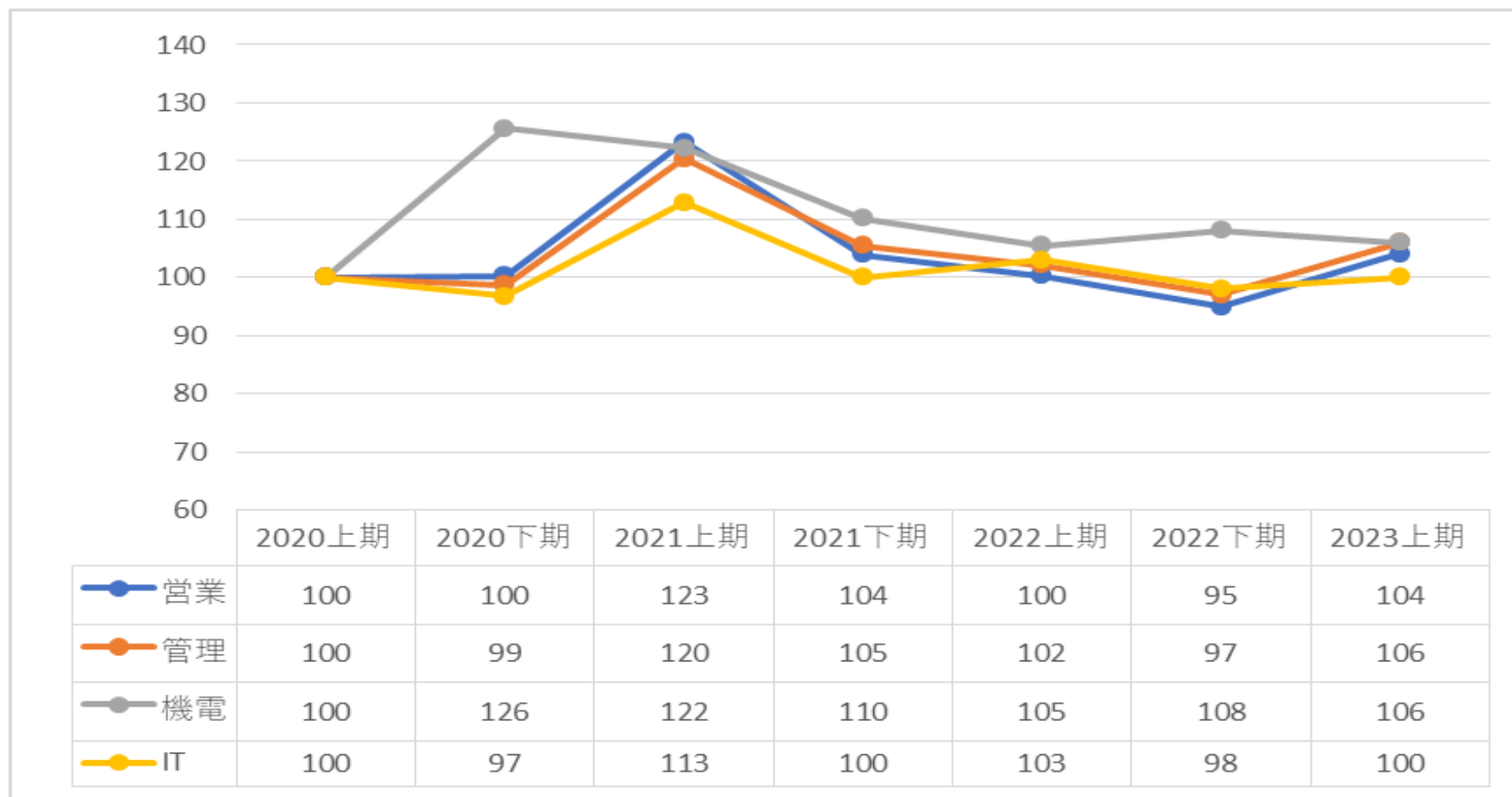
※2020上期のデータを100とした求人数

求人数／求人者の変化（選ぶ側から選ばれる側に）

- 幅広い業種、職種において求人数は大幅に増加
 - ミドル層求人の増加
 - リモートワーク可能な求人の増加
 - 未経験者採用の増加
 - 処遇改善や福利厚生の実施を図る企業の増加
 - 採用チャネルの拡大（有料職業紹介、スカウトサイトなど）
- ※外国人材の採用検討（高度人材、特定技能）

弊社の人材紹介事業の求職者数について

求職者登録状況：主要職種（ホワイトカラー系）



※2020上期のデータを100とした求職者数

求職者の変化

- 求職者数は微増
- 若年層の希望年収の上昇
- 若年層の営業職希望者減少
- 若年層のリモートワーク可能企業への応募増加
- 首都圏企業への転出増加
- 40代～50代の転職希望者の増加

今後の採用市場について

求人数は、大幅に増加している一方で、求職者数は微増にとどまり求人倍率の高い職種は、求職者の奪い合いの状態となっている。そうした中で大手や業績の好調な企業は、処遇改善を図り、企業ごとの**採用力格差**が広がっている。

中途採用が難しい企業は、新卒採用にシフトしたり、人材紹介会社の活用、リファラル採用、WEB広告サイトなど採用チャネルの拡大に取り組んでいるが採用における強みのない企業は苦戦している。求職者数の増加が見込めない中で、今後この格差はさらに広がるものと想定される。